

2023年2月号

四万十図書館だより



発行*四万十市立図書館

春の陽気が待ち遠しい今日この頃、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

さて、図書館では2月18日(土)に大人のための映画上映会として「深夜食堂」の上映を予定しています。事前の申し込みは不要となっておりますので、参加をご希望の方はお気軽にご参加ください。



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

2月図書館情報

一般行事

大人のための映画上映会「深夜食堂」

日時 2月18日(土)13:30~(開場 13:00)

場所 市役所3階防災対策室

対象 高校生以上

申込 不要

入場の際には手指の消毒・マスクの着用をお願いします。

※状況により中止や変更の可能性もあります。

詳しくは図書館カウンターや電話、ホームページで。

→休館日

一般展示

「もっと知ろう がんのこと」
四万十市のがん検診の募集時期に合わせて、関連本を展示しています。

場所：一般展示コーナー

郷土展示

「四国遍路」

四国遍路について書かれた巡礼記や観光ガイドブックなどを集めました。

場所：一般特集展示コーナー

児童展示

「ねこ」

猫に関連した絵本や児童書などを集めて展示しています。

場所：児童展示コーナー

ティーンズ展示

「いろんな世界のいろんなこと」
世界各国の人々の暮らし・文化・歴史・自然などの本を集めました。

場所：賞展示コーナー



新着本紹介



小説	『香港陥落』 松浦 寿輝
『藍色ちくちく』 高森 美由紀	『間借り鮎まさよ』 原 宏一
『あかあかや明恵』 梓澤 要	『優莉凜香』 松岡 圭祐
『荒ぶるや』 佐伯 泰英	エッセイ
『ある愛の寓話』 村山 由佳	『90歳の人間力』 外山 滋比古
『今日はいい天気ですね。』 群 ようこ	『成熟スイッチ』 林 真理子
『クラックアウト』 長沢 樹	外国文学
『グレイスレス』 鈴木 涼美	『アハウドリの迷信』 岸本 佐知子 他
『木挽町のあだ討ち』 永井 沙耶子	『グリーン・ロード』 アン・エンライト
『残照』 田中 芳樹	『鹿狩りの季節』 エリン・フラナガン
『祝祭のハングマン』 中山 七里	『わたしのペンは鳥の翼』 古屋 美登里
『植物少女』 朝比奈 秋	郷土
『書楼弔堂 待宵』 京極 夏彦	『異分子の彼女』 西澤 保彦
『審議官』 今野 敏	『帰る途もつもりもない』 合田 佐和子
『バスに集う人々』 西村 健	『とんとんからり』 正木 秀尚
『浮遊』 遠野 遥	『冬の霧』 藤原 緋沙子

歴史	医療
『織田信長』 柴 裕之	『凶解眠れなくなるほど面白い老化の話』 長岡 功
『中世ヨーロッパ騎士道の作法』 祝田 秀全	『すごい自力整体』 矢上 真理恵
『「南京事件」日本人50人の証言』 阿羅 健一	『隣の聞き取れないひと』 五十嵐 大
社会	『ノドトレ』 西尾 正輝
『池上彰の世界の見方 中南米』 池上 彰	『ルポ副反応疑い死』 山岡 淳一郎
『聞く技術聞いてもらう技術』 東畑 開人	料理
『現代カタストロフ論』 金子 勝 他	『植物生まれの気楽なおやつ』 白崎 裕子
『昭和のくらしと道具図鑑』 小泉 和子	『豆腐、豆乳、豆乳ヨーグルトのおやつ』 今井 ようこ
『ルポ アメリカの核戦力』 渡辺 丘	『ラクしておいしい電気圧力鍋レシピ』 野川 彩
経済	芸術
『アフター・アベノミクス』 軽部 謙介	『マザー・グースの音楽帖』 志田 英泉子
科学	『万華鏡えほん』 鈴木 明子
『なぜ理系に女性が少ないのか』 横山 広美	芸能
『まだ見ぬ地球外生命』 山岸 明彦	『笑い神』 中村 計

四万十市立図書館 利用案内

開館時間・休館日 午前9時～午後7時／館内整理日(毎月最終金曜日)・年末年始・蔵書点検期間など

貸出規則 図書10冊(2週間)／雑誌5冊(2週間)／DVD・ビデオ2点(1週間)

定期的なイベント おはなし会(毎週日曜日10時20分～／場所：おはなしの部屋)

※夜間・土日祝日駐車レーンを確保しています (守衛棟北側縦列駐車3台分)